

【受講者の方からの手紙】

拝啓

朝夕めっきり寒くなりましたが、如何お過ごしでしょうか。このたびは研究等にお忙しいなかでの公開講座ありがとうございました。

私は被爆者ということから、講座の主題でありました「長崎原爆とその影響」につきまは日頃から関心がありました。このテーマを友人から聞き、受講人数に制限があるとのことでしたので、いの一に申し込みに致しました。被爆後40年以上も経過したというのに、まだ多くの人が病苦に悩まされているようです。私は現在健康ですが定期的な職場での健康診断、被爆者検診などは欠かさことなく受診するようにしております。

放射線など被爆についての研究は、ABCC(放射線影響研究所)がすべて実施しているものと思っておりましたが、長崎大学であるように大がかりに研究されていたとは、恥ずかしながら知りませんでした。心強い限りです。これらの研究は永遠の課題ではないでしょうか。世界ではいたるところで核実験が行なわれています。ソビエトなどは過去にチェルノブイリでの大事故があったにもかかわらず、国連軍縮週間中にまた地下核実験がなされたと報道されました。世界中には核実験や原発事故を含めると被爆者がたくさんいると思います。どうか苦しんでいる人々のために、また平和のために、被爆者の医療研究の先進国であります日本の、とりわけ被爆地長崎で研

鑽された高度の医療技術を惜しむことなく提供していただきたいと思います。今後とも多くの研究成果を期待しております。

今回の講座では講師の方々が優しく丁寧で、他の講座ではみられないファミリー的で、しかもホットな話題を、教える人と教えられる人との隔たりがなくて親しみをおぼえました。したがいまして私などもきどることなく受講することができました。本当にありがとうございました。

次回からの要望としまして以下2点ほど述べさせていただきます。

1. 教室が狭いためか机がありませんでした。ノートをとるためにも机がほしかったのでは？
2. せっかくの互いの出会いですので、受講者同士の自己紹介と、一言発言の時間を設けて戴ければ以後つながりができたのでは？

最後になりましたが、奥村先生はじめ岸川、関根、井関、三根、太田、各先生方およびスタッフの皆様方のご健康と、これからのご活躍をお祈り致します。

敬具

平成2年11月4日

受講者 A.K.

〔差出人の御了解をいただき、匿名で掲載をさせていただきました〕